

平成28年度授業改善推進プラン 保健体育科

昨年度の授業改善推進プランの検証

取り組みにおける成果と課題

- ・グループ学習を効率的に行なった結果、意欲的に授業に取り組む生徒が多くなった。
- ・自己評価・相互評価を適切に行い、学年が上がるにつれ、周囲と協力しながら自主的に学ぶ姿勢が構築されてきた。
- ・学習カード等で課題やねらいを示すことで、自ら考えて取り組む姿勢がみられたものの、楽しむだけの傾向が強いという課題がある。今後は個に応じた課題解決する力及び目標設定する力をつけさせたい。
- ・体力向上を目標とする中で、本校の課題であった全身持久力は依然として低い状態にある。今後も引き続き重点ポイントとして取り組む必要がある。
- ・学年が上がるにつれ、自主的に準備・片付けを行うことや協力して授業を進めていく姿勢が確実に成長してきている。
- ・体育委員の生徒を中心に授業前の集合の徹底や授業規律の遵守の呼びかけなどを行ったことにより授業準備や行動が迅速になり意欲の向上につながったものの、学年によってばらつきが見られるため、学年間での差を縮めていくことが必要である。
- ・怪我の予防に対する意識が低いため、従来の準備運動からバリエーションを増やすことで柔軟性を高め、怪我を未然に防ぎ安全に授業を行う意識を養う。

保健体育の観点別結果の分析

観点	現状の分析と課題	具体的な授業改善策
関心・意欲・態度	<p>○1年生 全体的に意欲的に取り組んでいるが、集団としての行動に欠け、規律が遵守されていない面がある。</p> <p>○2年生 意欲的に取り組む生徒と苦手意識を持つ生徒の二極化がみられる。種目によって取り組みにムラがあるので興味・関心を持たせるとともに、技術・体力の向上と関連付ける必要がある。</p> <p>○3年生 授業規律が確立されており、意欲的に学習に取り組んでいる。スポーツテストの結果から自己の運動能力を知り体力の向上を継続的に図ることが求められる。</p> <p>○全学年 学年毎で多少の違いはあるものの、運動が得意な生徒と苦手な生徒の間にはその取り組みに差が見られる。全ての生徒が意欲的に授業に取り組むことができるよう工夫が求められる。</p>	<p>○1年生 授業の規律を確立し、身だしなみや挨拶、時間に遅れない、ルールを守るなど基本的な礼儀を身に付けるようにする。 また、体力の向上及び運動を楽しみながら取り組み、活動の楽しさを味合わせる。</p> <p>○2年生 学習の初めに、意欲を高めるために運動の特性について理解させ、それに応じた授業を行う。</p> <p>○3年生 自分の能力を新体力テストの結果や毎回の運動で気づき、能力差や課題に応じたグループ学習を行い、学習意欲の向上を図る。</p> <p>○全学年 視聴覚を用いた教材を使用することによって、関心・意欲の向上を図る。</p>
思考・判断	<p>○1年生 課題設定、練習の工夫など、協力し合って活動を行えているが、互いにアドバイスをすることはまだ不十分と言える。</p> <p>○2年生 学習カードを用いて、自己の課題や記録を取り、課題克服に向けて継続した取り組みが出来るようになってきた。</p> <p>○3年生 課題設定、練習の工夫など、協力し合ってアドバイスをすることができる。</p> <p>○全学年 積極的にチームミーティングに参加する生徒としない生徒に分かれてしまうので、チームでの協力を促す必要がある。</p>	<p>○1年生 学習カードを利用して課題設定の一助とする。</p> <p>○2年生 単元の中でスキルテストを多く行うことで、課題を明確にするとともに自身の課題解決に向けての積極的な取り組みを促す。</p> <p>○3年生 単元の中でグループ活動を設け、生徒同士での協力や教え合う力を伸ばす。</p> <p>○全学年 ルールを工夫し、ゲームを通して協力、練習の工夫、安全について考えさせる。 また、小・中連携教育を通して、継続的に体力づくりにあたる。</p>
運動の技能	<p>○1年生 積極的に活動に取り組んでいるが、基本的な体力が低い傾向にあるため、疲れなどから体調不良に陥る生徒が多い。</p> <p>○2年生 新体力テストにおける結果は、男女共に持久力が低い傾向にある。 また、各項目において生徒によって大きくばらつきがある。</p> <p>○3年生 2年生と同様、新体力テストにおける結果は、男女共に持久力が低い傾向にあり、各項目においては生徒によって大きくばらつきがある。</p> <p>○全学年 各学年において共通の課題は全身持久力である。</p>	<p>○1年生 毎授業時にランニング、補強運動、柔軟運動を継続して行い、基礎体力の向上を図る。</p> <p>○2年生 毎授業時にランニング、補強運動、柔軟運動を継続して行うことに加え、授業内での運動量を増やすことで持久力の向上を図る。</p> <p>○3年生 得意・不得意の生徒に合った運動の実践を図る。また得意な生徒にはさらに能力が上がるよう教え合い、学び合う場を設ける。</p> <p>○全学年 全身持久力が課題であるという認識を持たせ、持久力の向上に向けての取り組みを行う。また、柔軟性を高めることにより怪我の予防を意識させ技能の向上を図る。</p>
知識・理解	<p>○1年生 ルールやマナーを守って授業に取り組めない生徒がいる。</p> <p>○2年生 ルールやマナーを守らない生徒はほとんどいなくなったものの、それらに対する理解をより深めていく必要がある。</p> <p>○3年生 単元毎の運動の特性を理解することはできている。その知識を実践で発揮することにつながるものが課題である。</p> <p>○全学年 保健に対する関心が低い。生活習慣が健康と体力向上に関わっていることを理解させる必要がある。</p>	<p>○1年生 規範意識が身に付くよう、各単元で運動の特性やルール、マナーを教える。</p> <p>○2年生 引き続きルールやマナーを重視した指導を行い、さらに規範意識や安全に対する理解を向上させる。</p> <p>○3年生 個に応じた具体的なポイントを提示することで、課題解決に向けて身に付けた知識を実践につなげることができるよう指導を行っていく。</p> <p>○全学年 食事・睡眠など基本的な生活習慣確立の指導を養護教諭、栄養士と協力して行う。保健では最近のニュースなどを具体例としてあげ、身近なものとして考えさせ理解を深め実践できる力をつけさせる。</p>